

委員氏名		吉井 啓行		岡澤 和枝		竹内 彩乃		稲葉 知恵子		大嶋 西太郎		折原 圭太		増子 直文		※※ (不参加/不参加)	
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		○ 妥当 19点		◎ 良好 21点		◎ 良好 28点		◎ 良好 28点		○ 妥当 19点		◎ 良好 20点		◎ 良好 25点		◎ 良好 21点	
総合コメント		概ね妥当に取組みがなされているが、事前周知の方法や結果公表の取組みについては一層の強化が望まれる。		さまざまな市民参加の手法が用いられていました。アンケート調査では高校生や若い世代のニーズの把握やしるい未来作戦会議における小・中・高校生の意見を聴取は、これからの白井のまちづくりにむけて効果的な取り組みであったと思います。また、これらを進めるにあたって、関係各課との連携に担当課としてのご努力があったと思います。		白井市の総合計画だけでなく、大変丁寧な市民参加が行われており、評価が高かった。特にその他の投票については新しい試みであり、いかに質を高めて行なっていくか、今後の展開に期待が高まった。若手のアンケート回収率が低いものの、若者の使うツールでの周知が少なかったため、LINEやXなどの活用があった方が良かったかもしれない。しかし、若者との話し合いの場が設けられているので、若者の意見も吸い上げられていることが期待される。総合的に見て、大変良い取り組みが行われたと思う。		多様な市民参加の手法が導入され、幅広い層から意見を集めようとする姿勢が見られ、全体として評価できます。意見交換会は他課との連携のもと適切な人数で実施され、LINEやチラシによる周知、会議資料の開示など、市民参加の環境整備が工夫されています。アンケート調査では、住民意識調査においてWEB回答を導入し回収率52.3%と高い成果を上げたことが印象的です。一方で、高校生や若い世代アンケートの回収率が低い点については、今後の改善に向けた分析が期待されます。パブリックコメントは28日間実施され、WEBフォームによる提出が可能となり利便性が高められていました。意見募集から市の考え方の公表まで一定の期間を要していましたが、今後さらに工夫されることで市民へのフィードバックが充実すると考えます。		公募協議委員会に関しては偏りのない選出が望ましいと考える。周知場所や公表場所は、最低限基準を守るべきである。アンケートに関しては、対象者により回答率が低い結果となったものがあり回答率アップの対策が必要である。将来像の投票に関しては良い試みであると思うが、未登録者の投票への参加対策や登録者を増やす対策を講ずることが必要と考える。結果の公表は、終了後一か月以内が妥当と考える。		アンケートについては、高校世代、若い世代での回収率の低さが課題で、質問方法、内容などの一層の工夫が求められます。意見交換会を年代別、地域別など様々な形で実施されたことは評価できますが、せっかく実施されるのであれば、市民ファシリテーターへのレクチャーを充実させるなど、効果が高まるようにしっかりと準備されることを望みます。加えて事前周知、結果報告などについてより積極的に実施されるとなお良かったと思います。		下記評価で記載しましたが幅広い年代市民から今後の市政の在り方等の意見を得るために創意工夫が必要。			
担当課ヒアリング 質問事項		「将来像の投票について」方法や様式について教えてください。		ワークショップは結局行われたということ良かったのでしょうか。 ・公募市民の数が2名となっている箇所がありますが、4名でよろしいでしょうか。 ・Xを活用した効果について教えてください。 ・クエストは登録されている住民が回答したのでしょうか。 ・今回様々な意見を吸い上げた結果、審議会で議論に大いに役立った手法などがあればお伺いしたいです。 ・会長との調整の内容（市民参加の質を高める方法について調整したのか）		タウンミーティング及び地域別ワークショップについては、なぜ市民ファシリテーターを活用したのでしょうか。 その他の方法としての「第6次総合計画基本構想(案)に掲げる将来像の投票」を実施されていますが、市民が何を根拠に投票したのか、具体的などのような説明資料が開示されていたのか、また選ばれた内容が最終的に計画へどのように反映されるのかご教示ください。		今後の意見交換会の効率的かつ効果的な開催方法について、現時点での考えがあればお聞かせください。		各種市民参加の今後の意見向上の為の方法はいかがですか。							
評価項目		評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点	
①市民参加の方法		8		9		10		10		7		7		8		8	
②市民参加の手續き(基準)		6		7		9		9		7		8		8		7	
③市民参加の手續き(水準)		5		5		9		9		5		5		9		6	
手法ごとの評価		評点		コメント		評点		コメント		評点		コメント		評点		コメント	
審議会の設置		基準		妥当だが結果公表の取り組みについては強化を求めたい。		基準		委員募集は各センターやLINEの活用で市民への周知が進んだと思われませんが、図書館や情報公開コーナーでの周知がなく基準を満たしていない。		基準		8		基準		条例の基準は概ね満たしている。継続して調整が行われていたと思われる。	
		8				10				9		8		8		8	
		水準		妥当だが結果公表の取り組みについては強化を求めたい。		水準		会議録の公表がHPのみなので、LINEによる公表場所の周知などの工夫があると良い。		水準		無作為選出の制度を活用しなかった背景について教えていただきたい。		水準		無作為選出の制度を活用しなかった背景について教えていただきたい。	
		4				5				10		4		9		6	
パブリックコメント(意見公募)募集		基準		妥当に取り組みされている。		基準		おおむね条例基準に沿って実施されている。		基準		8		基準		WEB回答導入で回答率向上し幅広い意見が得られた。	
		8				9				10		9		8		9	
		水準		妥当に取り組みされている。		水準		結果は審議会に報告後、公表までにやや時間がかかっているように思う。実施の年度内に公表されると良かった。		水準		クwestantを用いたことで、登録もしくはインセンティブで回答された方がいたのは良かった。		水準		クwestantを用いたことで、登録もしくはインセンティブで回答された方がいたのは良かった。	
		9				7				9		10		7		8	
アンケート調査の実施		基準		概ね妥当に取り組みされているが、事前周知の取り組みについては、より一層の積極性を求めたい。		基準		調査ごとに回収率のばらつきがあった。		基準		8		基準		8	
		7				8				9		8		9		8	
		水準		概ね妥当に取り組みされているが、事前周知の取り組みについては、より一層の積極性を求めたい。		水準		WEB限定の調査は回収率が低いので、住民意識調査と同様に郵便も含めた回答方法を示したほうが、回収率のアップにつながったのではないかとと思う。		水準		Xを用いて広報をしている、WEB回答を可能にした点は評価できる。		水準		Xを用いて広報をしている、WEB回答を可能にした点は評価できる。	
		6				6				9		7		6		7	
意見交換会の開催		基準		事前周知の取り組みにより一層の積極性を求めたい。		基準		おおむね市民が参加しやすい場所や時間帯で開催されている。		基準		10		基準		10	
		5				7				10		8		8		7	
		水準		事前周知の取り組みにより一層の積極性を求めたい。		水準		事前周知については、LINEやメール、チラシなど多様な方法で取り組んでいた。		水準		もっと多くの方に参加していただけないかと。PRや参加者へのメリットについてアピールできても良かったかもしれない。		水準		もっと多くの方に参加していただけないかと。PRや参加者へのメリットについてアピールできても良かったかもしれない。	
		4				5				10		3		2		6	
その他の方法		基準		事前周知の取り組みと結果公表への取り組みが弱い。		基準		場所や期間、時間にとらわれず市民が参加しやすい取り組みであった。		基準		8		基準		8	
		5				7				9		7		8		7	
		水準		事前周知の取り組みと結果公表への取り組みが弱い。		水準		現行の評価チェック項目になじみにくい新しい取り組みとして評価したい。事前周知で、LINEや学校への呼びかけは良い。		水準		9		水準		9	
		4				5				10		4		9		6	

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号2 白井市第6次総合計画前期基本計画・前期実施計画策定事業

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号2 白井市第6次総合計画前期基本計画・前期実施計画策定事業

委員氏名	吉井 徳行		岡澤 和枝		竹内 彩乃		福葉 知恵子		大嶋 信太郎		折原 圭太		増子 直文		平均(小人数以下別添付)						
	◎ 良好	20点	◎ 良好	21点	◎ 良好	28点	◎ 良好	27点	○ 妥当	19点	◎ 良好	21点	◎ 良好	25点	◎ 良好	21点					
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)																					
総合コメント	概ね妥当に取組みがなされているが、事前周知の方法や結果公表の取組みについては、一層の強化を求めたい。		第6次総合計画基本構想策定事業と同時におよび継続して進められており効率的であると思います。		白井市の総合計画だけでなく、大変丁寧な市民参加が行われており、評価が高かった。特にその他の投票については新しい試みであり、いかに質を高めて行っていくか、今後の展開に期待が高まった。若手のアンケート回収率が低いものの、若者の使うツールでの周知が少なかったため、LINEやXなどの活用があった方が良かったかもしれない。しかし、若者との話し合いの場が設けられているので、若者の意見も吸い上げられていることが期待される。総合的に見て、大変良い取り組みが行われたと思う。		審議会、パブリックコメント、アンケート調査等、複数の手法を組み合わせて実施されており、市民の意見を把握しようとする姿勢が評価できる。さらに、11人から21件の意見が寄せられ、そのうち12件が案書の修正に活用され、一定の成果が見られる。意見が案書修正につながっている点は、パブリックコメントを実施した意義を示すものとして評価できる。また、アンケート調査については、白井市第6次総合計画基本構想策定事業と同様の取組と理解しており、白井市第6次総合計画基本構想策定事業の評価を反映することが適切であると考えられる。		公衆審議会委員に関しては偏りのない選出が望ましいと考える。周知場所や公表場所は、最低限基準を守るべきである。アンケートに関しては、対象者により回答率が低い結果となったものがあり回答率アップの対策が必要である。将来像の投票に関しては良い試みであると思うが、未登録者の投票への参加対策や登録者を増やす対策を講ずることが必要と考える。結果の公表は、終了後一か月以内が妥当と考える。		アンケートについては、高校世代、若い世代での回収率の低さが課題で、質問方法、内容などの一層の工夫が求められます。意見交換会を年代別、地域別など様々な形で実施されたことは評価できますが、せっかく実施されるのであれば、市民ファシリテーターへのレクチャーを充実させるなど、効果が高まるようにしっかり準備されることを望みます。審議会の会議録公開、アンケート・意見交換会の結果報告まで時間がかかっていることが残念です。		下記評価で記載しましたが幅広い年代市民から今後の市政の在り方等の意見を得るために創意工夫が必要。								
担当職ヒアリング 質問事項					<ul style="list-style-type: none"> ワークショップは結局行われたということで良かったのでしょうか。 公募市民の数が2名となっている箇所がありますが、4名でよろしいでしょうか。 Xを活用した効果について教えてください。 クエスタントは登録されている住民が回答したのでしょうか。 今回様々な意見を吸い上げた結果、審議会での議論に大いに役立った手法などがあればお伺いしたいです。 会長との調整の内容（市民参加の質を高める方法について調整したのか） 		審議会の開催回数について、資料上は第6回から記載されているように見受けられます。これは、白井市第6次総合計画基本構想策定事業等と同一の審議会における通し番号として整理されているという理解でよろしいでしょうか。						今後の意見交換会の効率的かつ効果的な開催方法について、現時点での考えがあればお聞かせください。		各種市民参加の今後の意見向上の為の方法はいかがですか。						
評価項目	評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点						
①市民参加の方法	評点	8	8		10		9		7		7		8		8						
	区分	概ね適切	概ね適切		適切		適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切						
②市民参加の手続き(基準)	評点	6	7		9		9		7		8		8		6						
	区分	要改善	妥当		良好		良好		妥当		妥当		妥当		要改善						
③市民参加の手続き(水準)	評点	6	6		9		9		5		6		9		7						
	区分	積極的	積極的		とても積極的		とても積極的		積極的		積極的		とても積極的		とても積極的						
手法ごとの評価	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント				
審議会の設置	基準	概ね妥当だが、事前周知、結果公表への取組みに一層の取組み強化を求めたい。		基準	委員募集は各センターやLINEの活用で市民への周知が進んだと思われませんが、図書館や情報公開コーナーでの周知がなく基準を満たしていない。		基準	公募市民の数が4人と書いてあるが、選定された人数が2名になっているので、どちらか確認させていただきたい。		基準	・公募委員の割合は27%であり、傍聴者も一定数確保できていることから、条例基準に照らして、市民参加の機会は一定程度確保されていると考えられる。		基準	・年齢、地域に偏りがある。・公募期間が短い・募集、会議録の周知場所に情報公開コーナー、図書館が含まれていない		基準	条例の基準は概ね満たしている。継続して調整が行われていたと思われる。		基準		
	7			8			10			9			7			8			8		
	水準	概ね妥当だが、事前周知、結果公表への取組みに一層の取組み強化を求めたい。		水準	会議録の公表がHPのみとなっているが、LINEによる公表場所の周知などの工夫があると良い。		水準	無作為選出の制度を活用しなかった背景について教えてください。		水準	・審議会は年4回開催されており、計画策定に向けた継続的な審議体制が整えられている。		水準	・公募期間が短い・会議開催時間帯が傍聴者を考慮したものか疑問が残る・会議録の公開は、一か月以内とすべきである		水準	会議録が1か月以内に公開されていません。		水準	市民全体から幅広い意見の回答率の向上を検討願いたい。	
	6			5			8			9			4			5			9		
パブリックコメント(意見公募)募集	基準	妥当に取り組みられている。		基準	おおむね条例基準に沿って実施されていた。		基準	クエスタント利用と同じぐらいのアクセス数があるので、逆にクエスタントを活用する意味があまりないのではないかということが気になる。		基準	・意見募集期間は28日間確保されており、条例基準で求められる期間を満たしていることから、適切に実施されていると評価できる。		基準	・基準に則していると考え		基準	WEB回答導入で回答率向上し幅広い意見が得られた。		基準		
	8			9			10			9			10			10			8		
	水準	妥当に取り組みられている。		水準	計画や条例の概要版があれば、前期基本計画(素案)への理解や意見提出の増につながる可能性があると思ったと思われる。		水準			水準	・パブリックコメントでは、11人から21件の意見が寄せられ、そのうち12件が案書の修正に活用されており、市民参加の手法として一定の成果が見られる。なお、「その他の方法」により寄せられた意見については、どのような方法で提出されたものか確認したい。		水準	・望ましいと考える		水準	計画や条例の概要版が作成されていません。		水準	今後更に市民からの幅広い意見の集約に繋げること。	
	9			8			9			10			10			9			9		
アンケート調査の実施	基準	概ね妥当に取り組みられている。		基準	調査ごとに回収率のばらつきがあった。		基準	若者対象のアンケートの回答率が低かった。原因の分析があれば教えてください。		基準	・広報しるし・情報公開コーナー・図書館でも事前周知が必要となっている。・SNS(X(Twitter))を活用した点は、市民への新しい情報発信手段である。・複数の種類のアンケートを実施しており、多面的に市民意見を把握しようとする姿勢が見られる。		基準	・事前周知場所に情報公開コーナー、図書館が含まれていない		基準	事前周知が図書館で行われていません。		基準	配付した各種資料アンケートが若年層をターゲットに行われている。	
	7			8			9			9			8			9			8		
	水準	概ね妥当に取り組みられている。		水準	WEB限定の調査は回収率が低いので、住民意識調査と同様に郵便も含めた回答方法を示したほうが、回収率のアップにつながったのではないかと思います。		水準	Xを用いて広報をしている。WEB回答を可能にした点は評価できる。		水準	・「第15回住民意識調査」ではWEB回答が導入され、回収率が52.3%と高水準である。一方で、「高校生世代アンケート調査」や「若い世代アンケート調査」でもWEB回答が導入されていますが、回収率はそれぞれ13.6%、21.3%にとどまっています。		水準	・周知場所は最低限基準を順守すべきと考える。・アンケートの回収率を高める努力を期待する。・アンケート結果公表までの期間が長い		水準	結果公表まで時間がかかっています。		水準	アンケートの回答率向上の為更なる工夫を願いたい。	
8			8			9			9			7			9			9			
意見交換会の開催	基準	事前周知と結果公表に対する取組みに一層の積極性を求めたい。		基準	おおむね市民が参加しやすい場所や時間帯で開催されている。		基準	良い取り組みが行われたと思う。		基準	・他の課とも連携して、多面的な意見を聞けるように多様な意見交換会を実施している。・各会で話し合うのに適切な人数が集まっており、参加者同士の意見交換が十分にできる環境が整えられている。		基準	・事前周知場所に情報公開コーナー・図書館が含まれていない・開催記録の公表場所に図書館が含まれていない		基準	事前周知が図書館で行われていません。結果公表が図書館で行われていません。		基準	ワークショップ開催が幅広い年代で多く開催できている	
	5			7			10			10			7			8			8		
	水準	事前周知と結果公表に対する取組みに一層の積極性を求めたい。		水準	事前周知については、LINEやメール、チラシなど多様な方法で取り組んでいた。		水準	もっと多くの方に参加していただけるように、PRや参加者へのメルマガについてアピールできて良かったかもしれない。		水準	・周知の方法としてLINEを活用し、幅広い層への参加を促している。・チラシによるPRも併用しており、情報伝達手段を多様化している。・意見交換会後には会議資料が公開されており、透明性の確保や市民への説明責任を果たしている。		水準	・交換会の事前周知を入りの集まりそうな場所を積極的に考えPRすべきと考える。・結果公表までの期間が長すぎる。・周知場所、開催記録の公表場所は、最低限基準を順守すべきである		水準	結果公表まで時間がかかっています。		水準	継続して若年層を多く取り込み意見を集約できれば	
	4			5			9			10			3			2			9		
その他の方法	基準	概ね妥当かとも思うが、取組みにもう工夫欲しい気がする。		基準	場所や期間、時間にとらわれず市民が参加しやすい取組みであった。		基準	面白い取組みであるが、どこまで住民が理解しながら回答したかが気になりました。この結果はどのように生かされたのでしょうか。		基準	・投票対象者を「小学4年生以上」とした理由は伺えます。・事前周知については、条例基準に基づき図書館での実施が必要である。		基準	・事前周知場所、結果公表場所に図書館が含まれていない		基準	事前周知が図書館で行われていません。結果公表が図書館で行われていません。		基準	概ね継続して実施されている。	
	5			7			9			8			7			8			8		
	水準	現行の評価チェック項目になじみにくい新しい取組みとして評価したい。事前周知で、LINEや学校への呼びかけは良い。		水準	現行の評価チェック項目になじみにくい新しい取組みとして評価したい。事前周知で、LINEや学校への呼びかけは良い。		水準			水準	・LINEや小中学校への協力依頼を行っており、幅広い世代への周知に努めている。・投票結果として、780票が集まり、『世代を超えた案議と審かきを未来へつなぐまち』が最多選択となり、その理念が公表されている。		水準	・市民が集まりそうな場所での事前通知をすべきと考える。・結果の公表を積極的にすべきと考える。・周知場所、結果公表場所は最低限基準を順守すべきである		水準	事前周知、結果公表手段が不足しています。		水準	上記の条例基準、望ましい水準でも記載したが白井市の重要な政策事業なので更に多くの市民から意見が得られるように各種手法の改善をお願いしたい。	
5			5			10			9			4			5			9			

委員氏名		吉井 徳行		岡澤 和枝		竹内 彩乃		稲葉 知恵子		大嶋 信太郎		折原 圭太		増子 直文		平均 (小値点以下切り捨て)									
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)	○ 妥当	19点		◎ 良好	20点		◎ 良好	24点		◎ 良好	25点		○ 妥当	16点		○ 妥当	17点		◎ 良好	21点		○ 妥当	19点		
総合コメント	概ね妥当に取り組まれているが、事前周知の方法と結果公表の取組みについては、一層の積極性を求めたい。	第6次総合計画策定事業と同時並行で進められていたの一貫性がありました。公募委員は応募がないため、無作為抽出で選定されたのでしょうか。結果としては委員構成のバランスがとれたようですが、募集期間や周知に工夫があると良かったです。		様々な市民参加の手法を組み合わせられており、高く評価できる。他の計画策定と一緒に取り組まれており、庁内の市民参加の効率化が図られていたことは評価できる。		審議会が白井市第6次総合計画策定事業とは独立して実施されている一方で、意見交換会やアンケート調査は総合計画策定事業と合同で行われている点が特徴的です。市民参加の機会を重ねる中で、効率性と一貫性を確保していることは評価できます。ただし、同事業の位置づけや役割の違いを詳細には確認していないため、意見交換会やアンケート調査で得られた市民の声が、それぞれ総合計画と創生戦略にどのように反映されているのか、今後の議論の中で具体的に聞きたいと考えます。		市民参加の多様な手法が積極的に導入されていることは高く評価できます。住民意識調査や若い世代へのアンケート調査が行われ、データを基に課題を把握しようとしている点、意見交換会ではLINEやチャットでの周知や終了後の資料開示に努めている点などは、市民の参加と理解を深める有効な取り組みと考えます。		周知場所や公表場所は、最低限基準を守るべきである。自己評価の中で審議会について、男女比率、年齢バランスが取れ、特に子育て世代からの意見を審議会での議論に生かすことができたこと述べているが、女性の割合が2名で20%、しかも全て公募であり、この自己評価に疑問を感じる。地域別ワークショップの周知方法にライン、メール配信、自治会回覧を採用しているのは評価する。結果の公表は、終了後一か月以内が妥当と判断する。		テーマに鑑み、公募委員が10人中2人というのは少ないと考えます。		少子・高齢化で急激な人口増減を各地域で変化している。白井市は住む街？働く街？住む街で小中学生が増減するが成長につれ減少し街が過疎化している。その減少が各新しい住宅街で繰り返されている。今後も次期計画で令和12年まで策定」されているので各課題に積極的に推し進めて欲しい。		各課、地域のまち社共と活動協力していますか？									
担当課ヒアリング 質問事項																									
評価項目	評点	8		8		9		8		6		7		8		7		8		7					
①市民参加の方法	評点	8		8		9		8		6		7		8		7		8		7					
	区分	概ね適切		概ね適切		適切		概ね適切		やや不適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切					
②市民参加の 手続き (基準)	評点	6		7		9		9		7		6		7		6		7		7					
	区分	要改善		妥当		良好		良好		妥当		要改善		要改善		要改善		妥当		妥当					
③市民参加の 手続き (水準)	評点	5		5		6		8		3		4		7		5		5		5					
	区分	積極的		積極的		積極的		とても積極的		やや積極的		やや積極的		とても積極的		積極的		積極的		積極的					
手法ごとの評価	評点	コメント		コメント		コメント		コメント		コメント		コメント		コメント		コメント		コメント		コメント					
審議会の設置	基準	概ね妥当に取り組まれている。		事前周知や会議録の公表は情報公開コーナーや図書館で行われていません。		基準		公募市民募集の際の周知方法が足りなかったのではないかとと思われる。		基準		市民公募委員募集の周知については、条例基準に基づき情報公開コーナーおよび図書館での情報開示が求められる。		基準		公募が2名で割合が20%であるが、全て36から50歳の女性、しかも全委員の中で女性は公募の2名だけである。		基準		テーマに鑑み、公募人数が不足しています。		基準		自己評価にも記載があるように工夫が必要と思われる。	
	7			7		8				8		6		5		6		6		6		6		6	
	水準	概ね妥当に取り組まれている。		公募委員の割合が少ないと感じられましたが、審議会委員構成は男性委員が多い中、無作為抽出で女性が選出されたことでバランスが取れたことは評価したい。		水準		全体の人数と比べて公募市民の割合が低いのではないかと。議事録などの公開場所が少なく、ホームページも見つけづらい。		水準		審議会の委員名簿が公開されていないため、総合計画の委員との重複があるのかどうかなど、市民や外部から判断できません。委員構成の透明性を確保するためにも、名簿の公開が望まれます。		水準		委員の選考は、選考基準を順守すべきである。		水準		テーマに鑑み、公募人数が不足しています。		水準		各手続き評価同様に意見の集約に検討が必要。	
	6			4		7				7		1		4		9		5		5		5		5	
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	概ね妥当に取り組まれている。		おおむね基準に沿って進められていた。		基準		パブリックコメントに必要なことはほとんど行っていた。		基準		意見募集期間については、条例基準で定められている2週間以上に対し、28日間実施されており、十分な期間が確保されている。		基準		結果の公表場所に情報公開コーナー、図書館が含まれていない。		基準		検討結果の公表時期が周知されず、結果公表が情報公開コーナーで行われていません。		基準		自己評価にも記載があるように工夫が必要と思われる。	
	7			8		10		10		10		9		7		6		8		8		8		8	
	水準	概ね妥当に取り組まれている。		概要版の作成があると良い。		水準		eモニターを活用した初めての事例であると思うが、閲覧数がそこまで伸びなかった。ただし、もし活用していなかった場合にもっと少なかったことあると思うので、継続してやっていたら良かったと思う。またeモニター自体の広報も必要だと感じた。		水準		87ページに及びる案件に対して、該当ページ・箇所を示して意見を提出する形式は、市民にとって負担が大きい。概要版や議案整理、段階形式の工夫により、意見を出しやすくすることが望まれる。		水準		結果の公表は、最低限基準を順守すべきである。		水準		計画や条例の概要版が作成されていません。		水準		各手続き評価同様に意見の集約に検討が必要。	
	9			7		9		8		8		8		7		9		8		8		8		8	
アンケート調査の実施	基準	概ね妥当に取り組まれている。		調査ごとに回収率のばらつきがあった。		基準		若者対象のアンケートの回答率が低かった。原因の分析があれば教えていただきたい。		基準		広報しるし・情報公開コーナー・図書館でも事前周知が必要となっている。		基準		周知場所に広報しるし、情報公開コーナー、図書館が含まれていない。		基準		事前周知が広報しるし、図書館で行われていません。		基準		自己評価にも記載があるように工夫が必要と思われる。	
	7			8		9				9		8		8		6		7		7		7		7	
	水準	概ね妥当に取り組まれている。		WEB限定の調査は回収率が低いので、住民意識調査と同様に郵便も含めた回答方法を示したほうが、回収率のアップにつながったのではないかとと思う。		水準		Xを用いて広報をしている、WEB回答を可能にした点は評価できる。		水準		「第15回住民意識調査」ではWEB回答が導入され、回収率が52.3%と高水準である。		水準		周知場所は、最低限基準を順守すべきである。		水準		結果公表まで時間がかかっています。		水準		各手続き評価同様に意見の集約に検討が必要。	
	7			6		9		9		8		4		6		9		7		7		7		7	
意見交換会の開催	基準	事前周知の方法と結果公表への取り組みについては、より一層の積極性を求めたい。		おおむね市民が参加しやすい場所や時間帯で開催されている。		基準		良い取り組みが行われたと思う。		基準		他の課とも連携して、多面的な意見を聞けるように多様な意見交換会を実施している。		基準		周知場所に情報公開コーナー（タウンミーティング除）、図書館が含まれていない。		基準		事前周知が広報しるし、図書館で行われていません。		基準		自己評価にも記載があるように工夫が必要と思われる。	
	5			7		10				9		6		7		6		7		7		7		7	
	水準	事前周知の方法と結果公表への取り組みについては、より一層の積極性を求めたい。		事前周知については、LINEやメール、チラシなど多様な方法で取り組んでいた。		水準		もっと多くの方に参加していたら、PRや参加者へのメリットについてアピールできても良かったかもしれない。		水準		周知の方法としてLINEを活用し、幅広い層への参加を促している。		水準		周知場所、公表場所は最低限基準を順守すべきである。		水準		結果公表まで時間がかかっています。		水準		各手続き評価同様に意見の集約に検討が必要。	
	4			5		9		10		10		3		2		9		6		6		6		6	

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号4 白井市シティプロモーション基本方針

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号4 白井市シティプロモーション基本方針

委員氏名	吉井 徳行		岡澤 和枝		竹内 彩乃		福業 知恵子		大嶋 信太郎		折原 圭太		増子 直文		平均(小数点以下四捨五入)												
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)	△ 要改善	15点	○ 妥当	16点	◎ 良好	24点	◎ 良好	23点	△ 要改善	13点	△ 要改善	15点	◎ 良好	24点	○ 妥当	17点											
総合コメント	事前周知の方法、結果公表への取り組みについて、一層の積極性が欲しい。複数の「市民参加の方法」をとっても良かったのでは。		意見交換会は、白井市第6次総合計画策定事業で取り組まれたものの活用で、全体としての一貫性はありました。一方、自己評価の改善点に記載されているよう、本事業に特化した内容の意見聴取やその他の市民参加の手法を検討されると良かったと思います。		意見交換会は住民から直接声を吸い上げる上で有効な方法だと思いますが、それだけで偏りが生じる可能性もございます。今回の策定事業の意図に沿っていたのが意見交換会だったのが気になりました。		白井市シティプロモーション基本方針策定事業における市民参加は、意見交換会を中心に実施されており、市民の声を直接聞きながら方針策定を進めようとする姿勢が評価できる。特に、他の課とも連携し、各会において参加者同士が意見交換しやすい人数規模が確保されている点は、実質的な市民参加につながる取組である。一方で、本事業では市民参加の手法が意見交換会に限られているようにも見受けられるため、他の手法についてどのように検討されたのかを確認したい。また、意見交換会で出された意見が、素案や施策の方向性にどのように整理・反映されたのかについては資料上やや見えにくい部分がある。今後は、意見交換会で得られた市民の声と方針への反映状況との関係をより分かりやすく示すことで、市民参加の成果がさらに明確になるものと考えます。		周知場所や公表場所は、最低限基準を守るべきである。目的として子どもの視点による意見を聞くなら子どもの定義を明確にする必要があると考える。地域別ワークショップの周知方法にライン、メール配信、自治会回覧を採用しているのは評価する。結果の公表は、終了後一か月以内が妥当と判断する。		「しろいの未来作戦会議」と「地区別ワークショップ」に限定して実施されているため、あくまで基本方針の策定までの取り組みであると認識しています。		次年度への課題が多い。白井市プロモーション基本政策方針事業としての方針・方向性の課題を具体的に示して欲しい。具体的概要・目的が客観的なので明確に定める必要がある。														
担当課とアライング 質問事項	複数の「市民参加の方法」に取り組む考えはなかったのか。				・今回は他の取り組みと合同で意見交換会を実施されていますが、誰がどの担当をするということが決まっていたのでしょうか。今回、意見交換会のみ取り組まれています。こちらは白井市シティプロモーション基本方針策定の方がメインでやったのでしょうか。それとも、他の取り組みに乗った感じだったのでしょうか。 ・シティプロモーション基本方針策定事業に意見交換会のみが十分だったのか気になりました。		本事業では、意見交換会を中心に市民参加が実施されていますが、ハブリックコメントやアンケート調査など、他の市民参加手法についても検討されたのか確認させてください。あわせて、意見交換会を主な手法として選択された理由についてご教示ください。				「白井市シティプロモーション基本方針策定」というテーマで、意見交換会のみを実施した理由を教えてください。		各課、地域のまち社共と活動協力していますか？														
評価項目	評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点														
①市民参加の方法	評点	5	評点	5	評点	5	評点	6	評点	5	評点	5	評点	8	評点	5											
	区分	やや不適切	区分	やや不適切	区分	やや不適切	区分	やや不適切	区分	やや不適切	区分	やや不適切	区分	概ね適切	区分	やや不適切											
②市民参加の手続き(基準)	評点	5	評点	6	評点	10	評点	9	評点	6	評点	8	評点	7	評点	7											
	区分	要改善	区分	要改善	区分	良好	区分	良好	区分	要改善	区分	妥当	区分	妥当	区分	妥当											
③市民参加の手続き(水準)	評点	5	評点	5	評点	9	評点	8	評点	2	評点	2	評点	9	評点	5											
	区分	積極的	区分	積極的	区分	とても積極的	区分	とても積極的	区分	やや積極的	区分	やや積極的	区分	とても積極的	区分	積極的											
手法ごとの評価	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント										
意見交換会の開催	基準	事前周知の方法、結果公表への取り組みに一層の積極性が欲しい。		基準	おおむね市民が参加しやすい場所や時間帯で開催されている。		基準	良い取り組みを行われたと思う。		基準	・他の課とも連携して、多面的な意見を聞くように多様な意見交換会を実施している。 ・各会で話し合うのに適切な人数が集まっており、参加者同士の意見交換が十分に行える環境が整えられている。		基準	・しろいの未来作戦会議の対象者の35歳までに限定する理由が不明確 ・周知場所に情報開示コーナー、図書館が含まれていない ・開催記録の公表場所に図書館が含まれていない ・開催記録の公表までの期間が長い		基準	事前周知が情報公開コーナー、図書館で行われていません。結果公表が図書館で行われていません。		基準	若年層の地域別意見交換会開催で多くの意見が反映できたとのこと		基準					
	5			6			10			9			6			8			7			7					
	水準	事前周知の方法、結果公表への取り組みに一層の積極性が欲しい。		水準	事前周知については、LINEやメール、チラシなど多様な方法に取り組んでいた。		水準	もっと多くの方に参加していたように、PRや参加者へのメリットについてアピールできて良かったかもしれない。		水準	・ワークショップは、市民が自分の意見を積極的に発信し、他の参加者の意見にも触れられる点で有効な取組である。 ・ここで出された意見が素案や施策の方向性にどのように整理・反映されたのかについては、資料上やや見えにくい部分がある。		水準	・周知場所、公表場所は最低限基準を順守すべきである ・開催記録の公表は、開催後1か月以内が妥当であると考えられる ・子どもの視点による意見を聞くなら子どもの定義を明確にする必要あり		水準	結果公表まで時間がかかっています。		水準	更なる多くの意見の集約が必要と思われる。		水準			水準		
	5			5			9			8			2			2			9			5					

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ

事業番号5 白井市第3次教育大綱

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ

事業番号5 白井市第3次教育大綱

委員氏名		吉井 信行		岡澤 和枝		竹内 彩乃		稲葉 知恵子		大嶋 信太郎		折原 圭太		増子 直文		平均(0観点以下切り捨て)											
総合評価 ①+②+③ 上原(30点)		○ 妥当 17点		◎ 良好 21点		◎ 良好 25点		◎ 良好 22点		○ 妥当 19点		△ 要改善 15点		◎ 良好 24点		◎ 良好 20点											
総合コメント		事前周知の方法や結果公表の取組みについて、一層の強化を求めたい。		白井市総合教育会議を本事業の審議会と位置付けています。「民意を反映した教育行政の推進を図る」という審議会の目的に沿うのであれば、公募委員の参加の検討をしていただきたかったと思います。また、アンケートや意見交換会は第6次総合計画策定にあたり実施されているもので、それを活用することは一貫性がありました。一方、意見交換会の対象が子どもから若者世代となつていますが、学校教育だけではなく社会教育の視点からは中高年世代の意見聴取も必要ではないかと思いました。		教育という専門的な内容を検討する上では十分な市民参加だったと思うものの、一方で、教育は誰もが関心のあるテーマだと思うため、もう少し市民が参加する余地があっても良いのではないかと感じました。		審議会の構成について、委員の4名が教育委員会委員で、総務の経緯や役割に一定の合理性があるものと拝察いたしますが、今後さらに多様な視点を審議に反映させていくという観点からは、市民の参加も検討されるべき、より広がりのある議論が可能になるのではないかと感じました。パブリックコメントについては、現時点で意見入力フォームが確認できないため、どのような形式で意見を募っていたのか把握できておりません。公開されている資料から推察するに、教育大綱案の内容をもとに幅広い意見を求めているものと思われる。その一方で、役割の構成や表現がやや強さにくい印象を与えていた可能性もあり、結果として意見の抽出が限られたのではないかと考えました。今後は、市民がより気軽に参加しやすい工夫があると、より多様な声の反映につながるのではないかと考えます。「しろいの未来作戦会議」は、市民の皆様への思いや視点丁寧に取り扱われており、非常に意義深い取り組みだと感じました。こうしたプロセスで得られた意見や視点が、今後の教育大綱の策定に実質的に反映されていくことを期待しております。		周知場所や公表場所は、最低限基準を守るべきである。子どもや若者の定義を明確にする必要があると考える。結果の公表は、一か月以内が妥当と考える。		地域の教育のあるべき姿を検討するという、市民の意見を広く取り入れるべきテーマにもかかわらず、審議会の委員が行政機関等職員のみで実施されたこと、またパブコメの募集について取り組まれましたが、結果として意見が0であったことは問題であると考えます。		市の政策として重要であり、特に広く市民の意見を反映させる必要のある事業であると記載があるので今後、どのように意見を集約し反映できるかが課題													
担当課ヒアリング 質問事項						・審議会は公募市民を入れることはできないのか。 ・公募市民が入った場合、パブリックコメントやその他の活動により市民の意見が反映されやすくなるということは考えられないか。		・広報しろい令和7年4月号に掲載されていた「第3期白井市子ども・子育て支援事業計画」に関するパブリックコメントと、今回の「第3次教育大綱」に関するパブリックコメントは、別の手続として実施されたものか確認させてください。あわせて、教育大綱に関するパブリックコメントについて、どの媒体で周知され、どのような形式で意見を募集されたのかを教えてください。 ・「しろいの未来作戦会議」はどのような経緯で実施することになったのでしょうか。また、ここで出された市民の意見が、教育大綱案のどの部分にどのように反映されたのかについても教えてください。		パブリックコメントの意見を出すために、今後どのように改善すべきか、ご意見をお聞かせください。		各課、地域のまち社共と活動協力していますか？															
評価項目		評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点		評点											
①市民参加の方法	評点	7		8		8		7		7		5		8		7											
	区分	概ね適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切		概ね適切		やや不適切		概ね適切		概ね適切											
②市民参加の手続き(基準)	評点	5		8		9		8		7		6		7		7											
	区分	要改善		妥当		良好		妥当		妥当		要改善		妥当		妥当											
③市民参加の手続き(水準)	評点	5		5		8		7		5		4		9		6											
	区分	積極的		積極的		とても積極的		とても積極的		積極的		やや積極的		とても積極的		積極的											
手法ごとの評価		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント									
審議会の設置	基準	事前周知の方法と結果公表への取組みに一層の積極性が欲しい。		基準	審議会の目的に「民意を反映した教育行政の推進を図る」とあり、市民目線からの発言ができる公募委員の参加が望ましい。		基準	教育という専門的な内容を話し合う審議会のため、妥当であると思う。		基準	・3回の会議とも傍聴者数が0である。		基準	会議録の公表場所に図書館が含まれていない		基準	テーマに鑑み、公募人数が不足しています。		基準	実施済み、白井市総合教育会議が妥当で期間は特に指定がない事からコメントは無し		基準					
	5			7			8			7			8			3			8			6					
	水準	事前周知の方法と結果公表への取組みに一層の積極性が欲しい。		水準	会議録は詳細にまとめられているが、視覚的にわかりやすく作成されていると良かった。		水準	ただし、一般の人にも興味のある内容だと思うので、各センターに資料を置いた方が良いと思う。(手間がかかるようであれば、仕組み自体を変更することができないか検討した方が良いと思う。)		水準	・市民参加として審議会を構成する場合、市民公募委員も選任してよいのではないのでしょうか(市民公募委員は、技術的・専門的な審議会は30%以上であることが望ましいため)。 ・審議会と白井市総合教育会議 ・公募方法について、幅広い公募方法を設定している。 ・募集期間は十分に設定されている(望ましい水準が3週間のところ4週間設定)。		水準	・会議録の公表場所は最低限基準を順守すべきである。・会議録の公表は2か月以内としているが一か月以内が妥当と考える		水準			水準	市の政策として重要であり、特に広く市民の意見を反映させる必要のある事業である		水準			水準		
	4			3			7			7			6			1			10			5					
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	ほぼ妥当か。		基準	WEBフォームサイトという新しいツールの活用があることは良かった。		基準	市民に関心を持ってもらえなかったということかと思う。例えば、審議会に公募市民が入っていた場合、異なる状況が生じていたか気になった。		基準			基準	・結果の公表無し		基準	パブコメが0件であることは問題と考えます。		基準	WEB回答の記載がないため		基準					
	6			9			10			7			9			8			6			7					
	水準	ほぼ妥当か。		水準	概要版の作成があれば、内容への理解が進み、意見提出につながるきっかけになったと思う。		水準	クエスチョンを使用したのは良かったと思うが、アクセス件数が伸びなかった。		水準	・パブリックコメントへの意見が0件だったことについてどのように分析されていますか。		水準	・コメントが無くても、無かったことの公表はすべきと考えられる		水準			水準	市の政策として重要であり、特に広く市民の意見を反映させる必要のある事業である		水準					
7			7			10			7			7			7			9			7						
アンケート調査の実施	基準	事前周知の方法と結果公表への取組みに一層の積極性が欲しい。		基準	おおむね条例基準に沿って行われていた。		基準	若者対象のアンケートの回答率が低かった。原因の分析があれば教えていただきたい。		基準			基準	・周知場所に情報開示コーナー、図書館が含まれていない ・結果公表場所に図書館が含まれていない		基準	事前周知が情報公開コーナー、図書館で行われていません。結果公表が図書館で行われていません。		基準			基準					
	6			9			9			8			8			8						8					
	水準	事前周知の方法と結果公表への取組みに一層の積極性が欲しい。		水準	審議会にてアンケート結果が報告されていない。		水準	Xを用いて広報をしている、WEB回答を可能にした点は評価できる。		水準			水準	・周知場所、結果公表場所は最低限基準を順守すべきである		水準	結果公表まで時間がかかっています。アンケート結果を審議会ですべて利用していません。		水準			水準					
	5			7			9			5			5			5						6					
意見交換会の開催	基準	事前周知の方法と結果公表への取組みに一層の積極性が欲しい。		基準	意見交換会に係る資料は事前に公開しているが、意見交換会当日に出席者への資料配布があれば良かった。		基準	良い取組みを行われたと思う。		基準	・開催場所、時間、回数や参加者の対象、事前周知、結果公表と取扱いなど、すべて適切に行われている。		基準	・しろいの未来作戦会議の対象者の35歳までに限定する理由が不明確 ・周知場所に情報開示コーナー、図書館が含まれていない ・開催記録の公表場所に図書館が含まれていない ・開催記録の公表までの期間が長い		基準	事前周知が図書館で行われていません。結果公表が図書館で行われていません。		基準	小学生から若い世代を対象とした意見交換ができたこと		基準					
	5			7			10			10			6			8			8			7					
	水準	事前周知の方法と結果公表への取組みに一層の積極性が欲しい。		水準	事前周知において、LINEやメール配信、チラシによるPRなどの工夫が見られた。		水準	もっと多くの方に参加していただけるように、PRや参加者へのメリットについてアピールできても良かったかもしれない。		水準	・ユニークな試みですばらしい。 ・4回の会議で、毎回10名以上参加している。 ・結果報告のレポートがわかりやすくてまとめられて、公開されている。 ・市民参加の取組として行われた本会議はどのように今後の施策に反映されていきますでしょうか。		水準	・周知場所、公表場所は最低限基準を順守すべきである。・開催記録の公表は、開催後1か月以内が妥当であると考えられる。・子どもや若者の定義を明確にする必要あり		水準	結果公表まで時間がかかっています。		水準	今後、更なる意見交換の開催		水準					
	5			6			9			2			2			3			9			6					